

「家がいいね」 第268号

いせ在宅クリニック 広報月刊紙

2026. 10. 2



雨が長く降り続く。そんな時の訪問こそ喜んで頂けるものと自らの気持ちを整え、お伺いします。軒下で雨に濡れる仙人掌の花に目が留まった。見過ごしてしまう所

同行看護師の、「あれっ」の言葉で気付きました。窓からは手を振っての、利用者のさよならの挨拶。月1回の訪問で、無事な毎日を確認する大切さを感じる遣り取りです。これこそ濃厚に感じます。

自然（じねん）は、その時を忘れない

草刈りが済んだばかりの原っぱに、彼岸花が急に茎を伸ばすのに驚きます。時節になることを忘れないのは、人より花のほうが優れています。「自然」は「人間が作ったもの」でも「人間が手を加えたもの」でも「人間自身」でもない、それ以外のあらゆるもののことです。私の存在を超えて自然は在る。人の経験の第一は自然と会うこと。また人と会うという時の言葉は、他の文字ならば妥当と思うように多義性がある。合う、遭う、逢う、遇う。色々な感情が含まれた言葉ですね。「あ」と「う」の音は、何かに気付いた時に、素直に口からこぼれる音なのかなとも考えます。自分も認められた存在かと思う経験があります。退職して数年経ち、こころの医療センターに行き、遠くから「おい先生」と呼ばれた。忘れていた患者が手を振っている。ただ通り過ぎるだけではなかったと、その縁に素直に心が向いた時でした。



美しく老いた人々

90歳を過ぎてなお童女のような方に、何人も出会う。他人を自然に歓待することで、私たちも喜びを知る。この

方々が生きてきた日々が偲ばれる。

残念ながら男で童児のような人は少ないものかも。

20年後の私は、誰でもない、只の童（わらべ）でイイ。

この建物も、5月まで、24年ご苦労様でした。→



残る言葉、残す思い

- ① 必要なものは 天から いただいた
 - ② これ以上は 何も望まない
 - ③ 枯れていく花 一番幸せな時の中
- （星野富弘さんの言葉に、触発された方の文を改編）

このいのち、あずかりもの（仏の教え）

縁起するまま
変化するまま
執（とら）われもなく
何（なに）もなく
まるまる

自然（じねん）にかえる

休診のお願い

10月28日、11月25日、
毎月最終水曜日は研修で休診いたします。

また、10月30日、31日の外来について
臨時に休診します。ご注意ください。
これら休日や時間外も、在宅患者さんには、
対応いたしますので、ご安心ください。



自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0079
三重県伊勢市大世古 2-6-12
電話 0596-20-8104
ファクス 0596-20-8105
メール homecare@kr.tcp-ip.or.jp
<https://isezaitaku.com>



→バックナンバー閲覧可